

令和6年度
学校関係者評価報告書

令和7年3月14日（金）

島原市医師会看護学校

学校関係者評価委員会

令和6年度学校関係者評価委員会

1. 開催日時 令和7年3月14日（金）14:00～16:00

2. 委員

	所属
委員長	前長崎大学教授
副委員長	長崎県島原病院看護部長
委員	前同窓会 会長

3. 学校関係者

学 校 長
副 校 長
教 務 主 任
事 務 長

4. 領域別評価及び意見

教育理念・ 教育目標	看護科の将来の構想に努力が見える。学校案内、ホームページ等学校紹介の工夫や方法についても継続的に検討され、課題も明確であり、評価も適切と思われる。
学校運営	早期のタブレット導入により、対面授業などが困難な状況の時、学習に支障なくICT教育に取り組めていて、不得手な講師には適切なサポートがなされていた。 感染症等で臨地実習の受け入れが困難な時は、オンラインでの臨地実習を行い、臨場感ある実習も継続的にできている様子もうかがえた。また、教員のICT教育方法についても更なる努力の様子もうかがえた。 このような教育環境の変化に伴い、教員の負担も大きく、健康管理についても引き続き環境調整に努力してほしい。
教育活動	今後の教育構築において、多様性を持った個々の学生の潜在能力をいかに発揮させるか、社会人基礎力をどのように育てていくのかなど更なる検討、実践に努力してほしい。 施設、地域との関わりを通して明確になっていくことも多々あると考える。

教育成果	<p>今年度、3年次の学生に留年、休学、退学が目立つ。その間、保護者、施設長等と情報を共有し指導した結果でもあった。</p> <p>国家試験合格支援については、個別指導はもとより、全体強化、特別補習など継続的体制は取られている。これからも、学力ばかりではなく学習環境の調整に、より一層の努力をしてほしい。</p>
学生支援	<p>学生相談については、今年度よりチューター制度の強化を図ることを目標に、学年担当者や教員全員で学生を支援するという教員の意識の強さがうかがえた。時には、教務主任、副学校長が対応している。カウンセリングは専門のカウンセラーによる学生対応も行っている。学生の自己成長を大切に見守っていることが理解できる。</p>
教育環境	<p>図書、教材の補充、システムの整備状況については、教員の意見が反映されている。</p> <p>防災体制については、各種規程、内規、感染症対策としてはマニュアル、フローチャートを作成し、共通理解できるようにしている（コロナ、インフルエンザなど）。</p>
学生の募集と受け入れ	<p>18歳人口の減少により高校新卒者の減少が目立ってきている。これからは、他分野で経験して看護を勉強したいと考えている人達への働きかけをより一層大切にしてほしい。</p>
財務	<p>年度予算の執行については有効かつ妥当なものとなっており、財務についての会計監査も適正に行われている。</p> <p>しかしながら、少子化が続く中で入学者数の減少が顕著となっており、更なる財政基盤の強化に注力していただきたい。</p>
法令遵守	<p>14条報告を行い、問題なく学校運営がなされており、法令を遵守していると考え。したがって、法令の努力義務を果たしていると考え。</p>
社会貢献・地域貢献	<p>地域の高等学校への出前授業、外部への施設の活用など、地域貢献されている。できれば高等学校以外にも積極的に出前授業を試みられると、更なる学生募集に繋がるのではないのか。</p> <p>今後に期待するものである。</p>

2. 総括

学校としての取り組みは良くなされているので、今回の意見等を参考に学校運営に活かせることを期待します。